

Saturday

9/23

市長、100歳のお祝いへ

生活のリズムが長寿の秘訣！

今年度100歳になる多久市民は10人で、国から祝い状と記念品、市から祝い状、祝い金、花束を贈りました。

敬老の日を迎えるにあたり、横尾市長は今年度100歳となる中川巖さん（北多久町）ほか9人を訪問し、お祝いしました。

中川さんは、大正7年生まれ、「健康のためには食事・睡眠・趣味といった生活のリズムが大切です。趣味のクロスワードパズルでは百科事典を片手に、解くのが楽しみです」と元気に話されました。市内の最高齢者は105歳の川副ヒサヨさん。みなさん、これからも元気にお過ごしください。



▲市長と和やかに会話を
する中川さん

▲100歳おめでとうございます



▲かわいらしい表情
のふくひめ号



▲大会に臨む高塚さん

黒毛和牛のオリンピック！

全国和牛能力共進会で“ふくひめ号” 出場

Friday

10/6

5年に1度開かれ、和牛の日本一を決める全国和牛共進会が（主催：全国和牛登録協会）9月7日～11日の4日間、宮城県仙台市で開催されました。多久市からは北多久町の高塚寛一さんが育てる「ふくひめ号」が、第三区若雌牛の部（生後17～20か月）で一等賞（7席）に選ばれました。審査は体格、毛の質の良さなどで競います。多くの観客で賑わう会場の中でも、ふくひめ号は物怖じせず堂々と競技に挑みました。高塚さんは「次回開催される鹿児島大会では、強豪県に負けたくないような牛を育てたい」と意気込んでいます。

Sunday

10/22

多久の新たな魅力を発見

多久百景写真コンテスト表彰

10月22日（日）、第1回多久百景写真コンテスト表彰式（主催：公益財団法人 孔子の里）が秋季釈菜にあわせ、行われました。

このコンテストは、「多久の四季・伝統文化・歴史」をテーマに写真コンテストを開催し、5年計画で計100作品を集めて、『多久百景』を創るという目的で行われたもので、初回にもかかわらず県内外から約300点もの応募がありました。

「多久百景」の選考では、聖廟や炭鉱といった歴史、豊かな自然、日本の原風景ともいえる田舎の郷愁が表現された作品は、力作ぞろいでありながらも審査員を大いに悩ませました。

グランプリ作品は、今月の市報たく日和の表紙を飾っている佐藤成幸さんの「夏めく幡船の里」。受賞者のみなさんは以下のとおりです。



▲展示の様子

▲表彰式の様子

- | | | |
|---------|---------|-----------|
| ○グランプリ | 佐藤 成幸さん | (福岡県太宰府市) |
| ○準グランプリ | 岸川 義幸さん | (多久市) |
| ○審査員特別賞 | 山田 力さん | (多久市) |
| | 川添 廣満さん | (唐津市) |
| | 長浦 敏雄さん | (長崎県佐世保市) |